

エレホン・#300シリーズ  
硬化促進専用特殊混和材

## エレホン ・ #300-1MSS

エレホン・#300 1MSSは、モルタルの硬化促進専用として開発された特殊混和材料です。普通セメントモルタルに混合させることにより以下のような硬化促進作用を示します。短時間でセメントモルタルを硬化させるため、緊急工事などに適しています。

### 特 長

#### ☆速硬化

普通セメントモルタルの硬化時間を飛躍的に短縮できます。  
急結セメントに近い速硬化モルタルを現場にて配合可能で、緊急工事などに適用できます。

#### ☆硬化時間調整可能

1M-SSの添加量を調整する事により急結～速硬化モルタルの配合が可能です。

#### ☆汎用性

配合に用いる普通セメントや骨材(珪砂等)は建材店様等で手軽に入手可能です。

### 施 工 要 領

**配合例** 普通ポルトランドセメント：骨材(5号珪砂)：#300 1MSS = 25：60：5(重量比)

この配合は、気温・水温が20℃の場合には10分以内に硬化します。

夏期(気温・水温・30℃程度)ですと1～2分程度で硬化します。

硬化時間は1MSS添加量の加減で調整を行って下さい。

調達骨材の違いにより水量の調整が必要です。(水量目安 17～19kg ※1)

※1 上記配合例の総重量90kgに対して 重量比20%前後

### 準 備

#### ①材料・器具

- ・1M SS …… #300-1M SS
- ・モルタル …… 普通セメント、骨材(珪砂 5号又は6号程度)
- ・混練水 …… 酸、塩、油、有機物等を含まない清浄水
- ・その他 …… 秤、混練容器、計量カップ、バケツ、コテ等

#### ②清掃

- ・コンクリート表面のレイタンス層、油、付着物等を除去して下さい。
- ・コンクリートに水打ちをした後、浮き水は取り除いて下さい。

### 攪 拌

- ・1回の攪拌量は、可使用時間内に充填可能な量として下さい。
- 使用セメント・使用骨材の違いにより、硬化時間・使用水量が異なります。
- 十分な試験を行った上で施工を行って下さい。(配合例は参考値です)

### 施工上の注意

- ・骨材は通常5号珪砂か6号珪砂を用いるのが最適です。
- 仕上げを綺麗にするには、7号珪砂を混合させたほうが良い結果となります。
- またメローズ等をセメント1袋(25kg)に対して25g(0.1%)程度添加すると表面のドライアウトを防止でき、コテすべりが極めてよくなります。
- エチレン酢酸ビニル系樹脂(エレホンシーラー等)の混入も問題ありません。
- ・現場で配合する場合は、硬化不良を防ぐ為にセメント・骨材・1MSSの空練りは十分に行なって下さい。
- ・1M SSはVカット部等の充填用モルタルの添加材として設計されています。
- 単独での使用・広い面積での施工には向きません。

### 仕 上 げ

- ・平滑度が必要な場合は、硬化前に金ゴテで仕上げして下さい。



粉体20kg缶 (5kg袋×4)

諸物性

項目 品名	比重 (空比重) (g/cm <sup>3</sup> )	粉末度	凝 結			
		0.6mm残分 (%)	水量 (%)	室温 (°C)	水温 (°C)	凝 結 (sec)
#300-1MSS	1.21	0	35	20	15	16

強度試験用モルタル配合による試験結果

#300-1MSS	ポルトランドセメント	珪砂5号
1	3	8

重量比

材 令	曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )
7 日	3.63{37}	17.1{174}
14 日	4.51{46}	22.7{231}
28 日	5.39{55}	29.0{296}

単位N/mm<sup>2</sup>{Kgf/cm<sup>2</sup>}

備 考

強さ試験方法は、JIS R 5201に準じて行った。

1N/mm<sup>2</sup> = 10.1972Kgf/cm<sup>2</sup>



特殊セメントの分野を大きくリードする

**エレホン・化成工業株式会社**

**EREWHON**

<http://www.erewhon.co.jp/>

- 本社・工場 〒870-0141 大分県大分市三川新町1-2-23 TEL (097) 552-2251 FAX (097) 552-2213
- いわき工場 〒979-3112 福島県いわき市小川町上平字中平30-3 TEL (0246) 83-2600 FAX (0246) 83-2677
- 大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-12-50 TEL (06) 6388-6585 FAX (06) 6388-6561
- 福岡支店 〒814-0151 福岡県福岡市城南区堤1-9-10 TEL (092) 874-6990 FAX (092) 862-6398
- 関東・東支店 〒340-0055 埼玉県草加市清門1-248-3 TEL (048) 951-1987 FAX (048) 951-1988
- 仙台支店 〒984-0012 宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2 TEL (022) 287-7221 FAX (022) 287-7222
- 名古屋支店 〒463-0048 愛知県名古屋市中区小幡南3-5-21 TEL (052) 758-1889 FAX (052) 758-1890
- 札幌営業所 〒007-0805 北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32 TEL (011) 786-6051 FAX (011) 786-6052
- 盛岡営業所 〒020-0838 岩手県盛岡市津志田中央3-6-11 TEL (019) 681-9531 FAX (019) 681-9532
- 新潟営業所 〒950-0963 新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23 TEL (025) 280-9282 FAX (025) 283-6262
- 関東・北営業所 〒320-0056 栃木県宇都宮市戸祭2-5-5 TEL (028) 680-6313 FAX (028) 680-6323
- 関東・西営業所 〒224-0064 神奈川県横浜市都筑区平台19-24 TEL (045) 306-6200 FAX (045) 949-2015
- 北陸営業所 〒920-0027 石川県金沢市駅西新町2-11-25 TEL (076) 204-9417 FAX (076) 204-9418
- 神戸営業所 〒652-0032 兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-7-5-1 TEL (078) 599-6630 FAX (078) 599-6631
- 広島営業所 〒739-1731 広島県広島市安佐北区落合2-41-22 TEL (082) 841-2350 FAX (082) 841-2360
- 北九州営業所 〒807-0801 福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1 TEL (093) 616-8470 FAX (093) 616-8471
- 熊本営業所 〒861-8045 熊本県熊本市東区小山2-14-47 TEL 050-3399-7419 FAX (096) 388-6227
- 鹿児島営業所 〒890-0082 鹿児島県鹿児島市築原1-5-1-25 TEL (099) 284-0533 FAX (099) 284-0535
- 機エレホン・技研本社 〒781-0270 高知県高知市長浜5226-13 TEL (088) 805-2332 FAX (088) 841-2322
- 機エレホン・技研松山営業所 〒791-8042 愛媛県松山市南吉田町1408-1 TEL (089) 974-8225 FAX (089) 974-8230